経管栄養（胃ろう：液体・半固形）

医療的ケア実施マニュアル

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名（性別） | 　　　　　　　　　　　　（　　　　　　） | 学年 |  |

【準備・手順】

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容 | 経管栄養（胃ろう：液体栄養剤　　ml～　　ml・または半固形栄養剤　　g） |
| 実施手順 | 留意事項 |
| 必要物品 | ※手洗いをし、必要物品を準備する。液体栄養剤（　　ml～　　ml）、または半固形栄養剤（　　ｇ）薬　白湯　お湯　イルリガートル　イルリガートル用スタンド　カテーテルチップ型シリンジ〔注射器〕（以下、シリンジという）　容器（半固形）　接続チューブ　延長チューブ　哺乳瓶乳鉢　温度計　姿勢保持に必要なもの　手指消毒剤 |
| 準　備 | 1. 必要物品、液体栄養剤・半固形栄養剤、薬の確認をする。
2. 手を洗う。（石けん、あるいは手指消毒剤）
3. 薬の準備をする。

・乳鉢に薬を入れ、すりつぶす。・白湯（　）mlを入れて混ぜる。・シリンジに入れる。（吸い上げる）1. 栄養剤の準備をする。

＜液体栄養剤＞・液体栄養剤（　）mlを人肌に温める。・イルリガートルのクレンメが閉じていること　を確認し、液体栄養剤をイルリガートルに入れる。・イルリガートルの先端を哺乳瓶に入れ、クレンメを開放し、先端まで液体栄養剤を満たす。満たしたらクレンメを閉じておく。＜半固形栄養剤＞・袋ごと十分に揉み解す。・常温か人肌に温める。・半固形栄養剤を容器に入れる。1. 体調の確認とポジショニング

・喘鳴の有無を見て、体調の確認をする。・体調や状況に応じた体位で行う。 | ・薬剤、栄養剤が本人のものであることを確認する。（主治医から指示された内容）・服薬は、依頼があった場合は看護師が実施する。・再度、薬が本人のものか、薬品名、投与時間、量、投与方法の確認をする。・乳鉢は、熱湯で消毒して使用する。・体調により、抗生物質などを加え　る場合は、よくすりつぶして、混　ぜるようにする。・シリンジは消毒後、水洗いをしておく。・液体栄養剤は、イルリガートを使　用する。・延長チューブがある場合は、栄養　チューブの先につなげて使用す　る。・半固形栄養剤は、容器とシリンジ　を使用する。・半固形栄養剤の温度は、保護者の指示と適用上の指示により決める。・喘鳴がある時は、吸引して落ち着かせる。・喘鳴が強い時は、頭を高くした側※胃ろうボタンと接続チューブを接続および外すときは看護師が立ち合い確認する臥位にする・胃ろう部に使用しているガーゼの　汚れや内容物の汚れを確認する。・胃ろうや胃ろう周囲の皮膚に、もれ、発赤、ただれ等がないか確認する。 |
| 実　施 | 1. 服薬

・接続チューブのクレンメを閉めてから、胃ろ　うボタンに接続チューブの先端を差込み、止まるところまで回転させる。・用意した薬剤が入っているシリンジを接続チ　ューブにつなぎ、薬剤を注入する。※服薬については、主治医の指示で変わることがあるので注意する。1. 栄養摂取

＜液体栄養剤＞・接続チューブにイルリガートルの先端を接続する。・開始を本人に伝える。・クレンメを開放し、敵数を合わせる。（△秒に△敵）・（　）分（時間）程度で終了できるようにする。＜半固形栄養体＞・半固形用の接続チューブを接続する。・開始を本人に伝える。・容器からシリンジに数回に分けて吸い、（　）　分で注入する。1. 摂取後の対応

・終了したら、白湯（　）mlを流し、胃の内容物がもれないよう接続チューブを外し、胃ろうボタンのふたを閉める。・摂取後は、（　）分間、安静にする。 | ・服薬は、注入前に再度本人のものであることを確認する。・薬注入時は、薬剤が詰まらないよシリンジとチューブを押さえ、攪拌しながら注入する。薬が増えた場合は特に注意する。・滴数があっているか、時々確認し、　合わせる。・発作や咳込みがあった場合は、クレンメを閉じて状態を確認する。・状態が落ち着いたら、栄養摂取を　再開する。・嘔吐があった場合は、直ちに栄養摂取を中止し、保護者に連絡する。・適宜、シリンジの先端の栄養剤を　ティッシュで拭き取る。・半固形栄養剤が漏れ出さないよう　に、接続チューブの先端を押さえながら注入する。・内容物が流れ出た場合は、胃ろう部分のガーゼを交換する。・必要に応じて、保護者が準備した　軟膏（薬）を塗る。 |
| 終　了 | 1. 片付け

・イルリガートル、シリンジなどを水で洗う。・保護者に報告する。（連絡帳に記入する） | ・注入終了後も呼吸、嘔気嘔吐に注意する。 |

【緊急時対応】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| トラブル | 保育士（教員）の対応 | 看護師の対応 |
| 胃ろうボタンが腹部から抜けそうになった場合 | ・看護師に報告する。 | ・看護師がガーゼ等で胃ろう部を保　護し、保護者へ連絡する。 |
| 胃ろうボタンが腹部から抜けた場合 | ・看護師に報告する。・ガーゼ等でろう孔を保護する。 | ・保護者へ連絡する。・外れた胃ろうボタンは、病院受診　の時に持っていくため、ガーゼで　包んで清潔を保つ。* 病院　　医師を受診する。
 |

【緊急連絡先】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜連絡先＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 保護者氏名 | （母）　　　　　　　　　　　　（父）　　　　　　　　　　　 | －　　　　－－　　　　－ |
| 主治医 | 　　　　　病院（小児科）　　　　　　　Dr | －　　　　－ |
| 救急搬送 |  |
| その他 |  |

（作成日）　令和　　　年　　　月　　　日

（作成者）

（保護者署名）